

全国教育研究所連盟加盟機関長殿

平成 20 年度 全国教育研究所連盟

「学校教育相談実技研修会」開催について

全国教育研究所連盟委員長	近藤 信司
民間教育研究所連盟委員長	川野辺 敏
栃木県カウンセリングセンター代表	日野 宜千
(社)日本青少年育成協会会長	佐々木喜一
星槎大学附属研究センター所長	山口 薫
(公 印 省 略)	

教育センターや教育研究所において、研修や面接に役立つ、この「実技研修会」は毎年開催され好評を得ています。今年度は、記念講演には、子どもの問題行動の臨床と発達の支援等を研究していらっしゃる、東京学芸大学名誉教授・東京成徳大学特認教授 深谷 和子先生を迎えるとともに、実技研修に時間をとり、実のある研修を計画いたしました。教育センターや教育研究所の役割が重視される今、ぜひこの研修にご参加いただき、ご研鑽ください。

1. 開催期間 平成 20 年 7 月 2 日 (水) 午後 1 時から 7 月 4 日 (金) 午後 1 時 (2 泊 3 日)
2. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区神園町 3-1 (TEL 03-3467-7201)
東京・新宿より小田急線各駅停車で 2 駅 (3 分) 参宮橋駅より徒歩 7 分
3. 主 催 全国教育研究所連盟
4. 主 管 民間教育研究所連盟 栃木県カウンセリングセンター
社団法人日本青少年育成協会 星槎大学附属研究センター
5. 参加費 研修費 14,000 円、宿泊費 4,300 円、情報交換費 5,000 円
合計 23,300 円 (食事代は各自実費負担、1 食 500 円~800 円程度)
6. 定 員 100 名 (先着順)
7. 研修内容
(1) 記念講演 「心の『強さ』を育てるーいま リジリエンス(弾性)が求められる時代の中で」
(2) 講 師 東京学芸大学名誉教授・東京成徳大学特認教授 深谷 和子 先生
(3) 実技研修 内容は別紙をご参照ください。
8. 問い合わせ先 星槎大学附属研究センター・星槎教育研究所「実技研修会事務局」
担当 近藤、三森、高田、橋本
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-35-1 教育センタービル 2F
TEL 03-5225-6245 FAX 03-5225-6246
9. 全日程参加者には全教連委員長名で修了証を発行いたします。

《記念講演講師プロフィール》

東京学芸大学名誉教授・東京成徳大学特認教授 深谷 和子 先生

【略歴】東京教育大学(現筑波大学)大学院心理学科博士課程修了、東京学芸大学教授を経て現職

【専攻】児童臨床心理学・児童社会学、子どもの問題行動の臨床と親の支援を探る領域での研究と実践。
最近のテーマは、いじめ、子どもの虐待、不登校問題、レジリエンスなど

【著書】「いじめ世界の子どもたちー教室の深淵」金子書房、「子どもを支えるー子どもの発達臨床の今とこれから」北大路書房、「遊戯療法ー子どもの成長と発達の支援」(編著)金子書房、他

【講演内容】相手から「共感や優しさ、思いやり」を過度に求め、相手の気持や意志を損なわないように「優しく」ふるまうことに心を砕く若者の増加。それでいいのでしょうか。不穏な時代の中で、心に「強さ」(レジリエンス)を育てることの価値とノウハウを考えましょう。

《日程》 9:00 12:00 12:30 13:30 14:00 16:00 18:00 19:00 21:00

第1日				受付	開会	記念講演		実技 研修 I	夕 食	実技 研修 II	自由 討論
第2日	朝 食	実技 研修 III	昼 食	実技研修IV					情報交換会	自由 討論	
第3日	朝 食	特別研 修講座	閉 会								

研修時間：記念講演 1時間30分 実技研修 11時間 特別研修 2時間30分

《実技研修》

【Aコース】「教育現場におけるコーチング活用法」

小山英樹 (社団法人日本青少年育成協会理事・主席研究員・認定マスターコーチ)

「コーチング」とは「目標達成に向けて、相手の自発的な行動を促進するコミュニケーションの技術」です。「人は、自分の中に答えを持っている／人は、それぞれ／人は、育とうとする生き物だ」という教育コーチングの基本センスに基づいて、「傾聴」「質問」「承認」というコーチングのスタンスと、そのスタンスから生まれるスキル(技術)を習得します。

【Bコース】「教師の力で明日できる特別支援教育～通常学級での実践」

阿部利彦 (所沢市健やか輝き支援室支援委員、

早稲田大学人間科学学術院心理相談室 臨床指導員)

本格的に動き出した特別支援教育。その期待とともに学校現場では「具体的に何をすればいいのか？」といった不安や戸惑いの声をたくさん耳にします。これまでとはまったく新しい発想や取り組みと構えるのではなく、今まで通常学級で実践してきたことを軸として自然にさりげなく導入できる指導や援助の方法、自然な支援を構築するための学級経営の実践方法を 『いいところ応援計画』で著名な阿部利彦先生のプログラムで研修します。

【Cコース】「学校におけるピアサポートのすべて」

森川澄男 (育英短期大学教授)

ピア(仲間)サポートとは、子どもたちが他の生徒をサポートする活動です。

最近各地でピアサポートの実践が行われ、確実に成果をあげています。我が国における唯一の学術団体としての「日本ピアサポート学会」会長の森川澄男先生の理論と実践のプログラムです。子どもたちが仲間としてお互いの悩みを受け止め、分かち合い、解決していく力をつければ、学校や教室は生き生きとするでしょう。新しいピアサポート理論を学び、実践活動を広めてください。

【Dコース】「教育現場での“連携づくり”ファシリテーション

～真のチームアプローチを進めるために～

三田地 真実（教育ファシリテーションオフィス代表、

東京学芸大学・法政大学・星槎大学兼任講師）

今、教育現場においても「連携づくり」ということばが聞かれない日はないほどに、学校という組織がどうやって校内・校外での連携を進めるかは大きな課題の一つです。連携のための連携にならないために、真に子どもたちのためになる学校システムを構築していくにはどうしたらよいかを、関わる人たち皆の知恵を出し合って考えるというプロセスをうまく「促進すること」、そのためのノウハウとしての「ファシリテーション(※)」を学ぶこと、これが本コースのゴール(狙い)です。

今回は①ファシリテーションの基礎（理論と基礎的なテクニック）②ファシリテーションの学校教育現場における応用(学校現場における応用例の紹介、及び参加型ワークショップによる体験演習)の内容で実施します。大事なものは「意味を考えること」、その上で明日からすぐに現場で使えるファシリテーションのスキルについて学んでいきます。

※ファシリテーションとは「促進する」「円滑にする」という意味の「Facilitate」の名詞形。

【Eコース】「カウンセリングをどう教えるか(カウンセリング教授法ABC)」

日野宣千（作新学院大学教授・栃木県カウンセリングセンター代表）

カウンセリングは実践活動であり、様々な場面で行われていますが、その基本はコミュニケーションです。教師が学校で「カウンセリング」を行うための実践的なコミュニケーションスキルの教授法を学んでみませんか。イーガンやアイビーなどの優れた演習法をわが国の実情に合わせて作られた、斬新なカウンセリングの教え方を、長年この方面で実績をあげてきた、日野宣千先生をトレーナーとして学びます。

【特別研修】「ロールプレイングによる事例研究」（全参加者共通）

丸山 隆と栃木県ロールプレー研究会

丸山先生と彼が主催する研究会のメンバーによる『ロールプレイングを使った事例研究』は、この実技研修にはなくてはならないものとして毎年実施され、好評を受けております。臨場感あふれる即興劇と、観客が一体となって作り上げる世界は、事例を立体的に理解でき、また深めることに大いに役立ちます。ご期待ください。

平成20年度研修会に向けて——昨年の参加者の声

毎年100名近くの方に参加いただいておりますが、参加者へのアンケート結果では98%の方が講演、研修内容共に良かったとのお答えでした。その内いくつかを取り上げてみます。

- ・ 大変充実した時間を過ごすことができました。出会いと感動があり、人とのつながりが大切であることを学びました。懇親会・情報交換会も貴重な経験でした。
- ・ 面接のあり方について改めて考えさせられた。自分の仕事にフィードバックさせたい。
- ・ 言葉とは違った感情の存在と、それを読み取ることの大切さと難しさを感じた。
- ・ 実践的な内容だった。すぐにも学校現場に取り入れたい。
- ・ ほかの先生方との情報交換も 他見の様子が分かり非常に有効だった。
- ・ 学校現場で、特別支援教育を中心とするサポート体制が本当に動きだせるよう形にしていきたいと真剣に考えた。
- ・ とてもレベルの高いあたたかい、仲のよい雰囲気での研修ができた。これを機会にもっと学びたい。

*受付番号

平成20年 月 日

平成20年度 全国教育研究所連盟
「学校教育相談実技研修会」

参加申込書

機関名 (学校名)		申込責任者 (職名)	
機関(学校) 所在地	〒	連絡先	TEL _____ FAX _____

下記のとおり「学校教育相談実技研修会」に参加を申し込みます

【実技研修は第1希望から第3希望までお書きください】

職名	氏名	ふりがな	性	実技研修希望順位					情報交換会 参加(5,000円)
				A	B	C	D	E	
									参加・不参加
									参加・不参加
									参加・不参加
									参加・不参加

* 希望順位欄には算用数字で番号をつけ、情報交換会参加有無に○印をお付けください。

* 参加費払込方法 (○印をお付けください)・・・振込先は別紙

①現金書留 ②銀行振込

(原則として研修会受付でのお支払いはお受けできません)

* 領収書は研修会場でお渡しいたしますので、領収書の宛名・但し書き・金額・枚数等のご希望がある場合はお書きください。お申し出がない場合は、別紙の様式で領収書を発行いたします。

領収書様式変更内容

【領収書様式】

機関名・参加者名 様

金額 ￥ 23,300円

但し 研修会費用として

【参加申込先】

NPO法人星槎教育研究所「実技研修会事務局」

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-35-1 教育センタービル 2F

TEL 03-5225-6245 FAX 03-5225-6246

*お申し込みは郵送または FAX でお願いいたします。

【参加費振込先】

銀行振込：りそな銀行神楽坂支店 普通預金 口座番号1490016

名義：星槎大学附属研究センター実技研修口

現金書留：上記「実技研修会事務局」宛にご郵送ください

【その他】

- * 宿泊は全室シングルルームになります。
- * 宿泊金額は2泊分の金額です。
- * 費用は、遅くとも6月末日までにお支払いください。
- * その他ご不明の点などは「実技研修会事務局」までお問い合わせください。